

実践



令和2年10月26日 第5号

第72回、校内マラソン大会。
コロナ禍に負けず今年も実施しました！

共通テストまで約80日。週課題がなくなり、自分で自由に使える時間の割合が増えています。志望校の問題の傾向を知り、それに合わせた合理的な学習計画を遂行する人が大半です。一方で、課題がなくなったことにより、そのまま学習時間が減ってしまう人も僅かながらいます。11月中旬からは2学期期末考査、12月以降は演習授業が始まります。考査対策、演習の復習に時間を割かなければなりません。よって、自由に使える時間は残り約20日と言えます。計画を立てず、ボヤボヤしているとあっという間に時間切れとなります。現在、最も「学校のシステムでなく、個人の人間性に成績が左右される期間」に入っています。上記のことを10月中旬の学年集会で伝えました。何人に響いたでしょうか。3F職員室前の赤本コーナーに人が群がっているの、かなりの人たちの行動に変化が見られたようです。大器かは定かではありませんが、まだまだ伸びしろが感じられる晩成型の学年！？

上記の念押しになります。多くの学習時間を確保することはもちろん大事なのですが、学習内容を具体的に計画することはもっと大事です。長い期間の計画を立てることが苦手な人も1週間や3日間ぐらいなら計画しやすいはず。今週は、化学の問題集を1日3題ずつ解いて1つの項目を完成させるとか、日本史では安土桃山時代の文化について総復習するとか、復習内容を細かく区切り実践します。小さな計画でも確実に実行すれば達成感を味わい、自信を積み上げることができます。それに加え、本番当日まで、休み時間は英単語の暗記に専念して1日30語、昼休みは数学の問題を2題必ず解くなど、継続型の努力目標があれば完璧です。

「勉強ってマルの数を喜ぶことじゃないよ。バツをマルにかえることなんだよ。」

東大出身の謎解きクリエイターとして有名な松丸亮吾さんが、子供の頃、母親から言われた言葉の中で今でもはっきり覚えているのが、この言葉だそうです。受験生に当てはめるならば、模試の復習に該当します。本校が受験する模試は、大規模な全国模試ばかりです。どの模試も、共通テスト出願者53万人のうちの40万人が受験しています。つまり、自分が見た問題は全国ほとんどの受験生が見た問題となります。入試本番で「あれ？この問題、どこかの模試で見たことあるぞ！よし！」と、ほとんどの敵が思っている中、自分だけが「う～ん、見たことない問題だな。僕も含めてみんな困っているな(笑)。慌てない、慌てない。」何、笑とんねん…。模試の復習は自分の実力を絶対的に高めると同時に、「自分だけが知らない」という状況を回避する相対的な意味合いがあります。なので、模試はなるべく多くの回数をこなし、そして、必ず復習すべきなのです。そして、そんな模試も先週、最終記述模試を終えました。残すはマーク模試3回のみ。ゲームの世界では、最初は貧弱だった主人公が、伝説の武器を入手することにより一気に強化され、敵の真の黒幕が分かり、ストーリーが一番盛り上がってきている頃でしょうか。モード、ファイナル。

(学年主任より)

校内マラソン大会が行われました！

10/14(水)に例年同様、千里浜海岸で実施しました。今年はコロナで学校行事が少ないせいか、応援に駆け付ける保護者や地元住民の方が例年より多かったです。お越しいただけた方々、ありがとうございました。ちょうど同日に、栃木県の高校生が修学旅行で千里浜を訪れていました。走り回ることができる海岸に興奮する修学旅行生とは対照的で、地元民の本校生徒は「なんでこんなところに修学旅行…？」と困惑していました。地元民にとっては当たり前の環境が、いかに地理的に特殊で、優れた観光地であるかを実感させられる光景でした。



3年連続入賞の5名です！
岡田くん、猪股くん
飯川さん、寺井さん、廣瀬さん

🎉 20位内入賞おめでとうございます 🎉

男子 (参加人数 228)

女子 (参加人数 281)

4位 猪股 昂志 (31H)

9位 高澤 夢歩 (32H)

7位 岡田 和尚 (34H)

11位 飯川 瑞穂 (31H)

11位 谷口 楓斗 (31H)

14位 廣瀬かのん (32H)

17位 杉本 広明 (35H)

19位 寺井 陽咲 (33H)

《今後の予定》

進駿マーク模試 (10/31, 11/1)

学校公開による授業日 (11/7(土)) ←11/9(月)が代休日となります

東大、京大、阪大、名大、神大模試 (11/8) ←東大、京大のみ 11/9 まで

2学期期末考査 (11/19~11/25)

全統プレ共通テスト模試 (11/28)

駿台プレ共通テスト模試 (12/5) ←最終模試ですが、その後も土 or 日で演習があります